

本丸御殿				塩漬け土地			裏金		政務調査費・費用弁償	
立候補予定者氏名(敬称略順不同)	現計画のまま継続するつもりか	具体的にどうする	その他意見	なごやサイエンスパーク事業を見直すつもりは	具体的にどうする	その他意見	「裏帳簿」「通帳」の公開は	その他意見	条例改正案提出するつもりは	その他意見
太田よしろう	現計画のまま継続するつもりは、ありません。	大不況のなかで、市民の暮らしが大変なときに、本丸御殿復元は凍結すべきであると考えています。また、マスコミでも、6割の方は、復元凍結・中止です。	名古屋城は市民に親しまれる場であり、文化や技術との保存・伝承は、必要な事業であると思います。しかし、本丸御殿は、市民のくらし、福祉、営業の充実と比べて、今いそいで進める事業であるとは思いません。	なごやサイエンスパーク事業は見直します。	今後の見通しについて検討し、活用計画ははっきりとしないものについては再編し、市民に活用される緑地などとして整地します。また、公社からの買もどし、低金利への借り換えなどを行います。	塩漬け土地問題は、バブル崩壊後の政府の公共事業推進の方針に対して無批判に追従し、開発用地を購入したものです。その後、政府の方針を転換したため、負担が市にのしかかることになりました。これを放置すれば、市民への負担がさらにふくらむことになります。しかし、民間への売却によって、いわゆる乱開発に陥ることも回避すべきです。国の責任を問うとともに、新たな土地の利用を、たとえば、守山区民のみなさんと区民協議会で議論して考えます。	裏金に関する書類は、個人情報を除いて原則公開します。	問題を隠蔽せず、情報を公開することが再発防止につながります。また、裏金が生じる要因を解明し、財政運営では正すべき点を明らかにすることが、問題の根っ子からの解決になると思います。	政務調査費にかかわる領収書や帳簿類の全面公開ならびに、本会議・委員会出席一日1回の費用弁償廃止条例を、議会と協議して提出します。	政務調査費は、名古屋市の一般会計予算が1兆円規模であることから、その適切な支出とよりよき市政推進をさぐるための調査・研究の経費として必要だと考えます。 では、どのような項目が必要なのか。議員自ら調査研究のための調査費、研修費、視察費、専門の調査員を雇用する経費。市民の方からご意見を聞き、逆に知らせる公聴広報費、その他の費用は必要です。それらから、議員一人当たり月50万円程度を基準にしてきました。これは、2月議会で改正され実現しました。領収書や帳簿類の全面公開は、調査研究の内容を明らかにする点で、必要です。推薦団体である日本共産党名古屋市議団は、議会でのこの点を求めています。 費用弁償については、交通費しか根拠がなく、1万円は高すぎます。交通費としても、報酬が出ており、支給の必要はないと考えています。推薦団体である日本共産党名古屋市議団は、現在、この費用弁償を受けとらず、廃止を求めています。 以上は、議員活動にかかわり、市民の声を大切にする立場から議会との協議のうえで、条例改正提出を考えています。
河村たかし	ない	ゆっくりにして市民の意見をお伺いする。	・この大不況「御殿」は義直公でも慎重にしたのではないかと ・熱田神宮、宮の渡しなど御三家筆頭尾張武將文化全体の中で考えたい。 ・取り壊すつもりはない。	ある	長年にわたって事実上放置されてきた「塩漬け土地」問題は、名古屋市の財政に大きな影響を及ぼしかねない、まさに看過できない問題であり、市長就任後、速やかに対策に乗り出す。まずは、「塩漬け土地」を含む「土地開発公社」のこれまでの運営・経営状況などの実態を調査し、結果を全面公開する。当然、なぜ、これほどの「塩漬け土地」が発生したのか、経緯や原因、さらには責任の所在も含めて明らかにする。 その上で、「塩漬け土地」を今後どのように処理していくべきか、さらには「土地開発公社」の存廃も含めた公有地取得方式の在り方についても、名古屋市として本格的に議論する。そのためには、「緑の審議会」では不十分であり、民間や学識経験者など外部の専門家も含めた「検討委員会」を作って対応する。「なごやサイエンスパーク事業」についても、この委員会で議論することになる。この委員会での議論は、今回の市長選挙の「マニフェスト」で約束したように、情報公開する。		あるが慎重にしていけないになるであろう。		ある	政務調査費は後払い全面公開 議員費用弁償は実費支給
細川まさひこ	ない	本丸御殿に関わらず、すべての事業に聖域を設けず、市民の目線で見直してまいりたいと考えております。厳しい経済情勢の中、市民生活を1日も早く回復基調に乗せるためにも施策の優先順位を考慮する必要があります。当面の間、本丸御殿への市税の投入はストップします。	本丸御殿の復元は郷土名古屋のシンボルとして近世武家文化を体験できる屈指の名城として再生するものと考えております。	ある	現行の計画にとられず、東名高速道路のスマートインターチェンジも予定されている状況の中で広域的に考えてまいりたい。	近年の厳しい財政状況や社会情勢の変化等に的確に対応して、新規取得を抑制し、積極的に買戻しを進めることが必要と考える。	文書公開については、係争中であることもあり、事態をしつかりと把握して対応したい。	(私的流用は論外として)年度内に予算を使い切るとする悪い慣習を改めるため、予算の仕組みの見直しが必要と考える。	ない 政務調査費は議員の調査活動の充実を図ることによって審議能力の強化、議会の活性化に役立つよう、地方自治法において制度化され、条例に基づいて支給されているものであり、有効に活用されていると考える。一方改正の必要があれば議会において適切に判断すべきものと考えている。	政務調査費の財源は税金であることから全領収書の全面公開は時代の趨勢であると考えている。

名古屋市民オンブズマン

代表 倉橋克実 様

2009年4月1日

名古屋・革新市政の会

太田よしろう

名古屋市政を市民の視点からチェックし、問題を提起されている市民オンブズマンのみなさんの取り組みには、日ごろより敬意を表しているところです。私も新南陽工場をめぐる談合をあいまいにすることを許すまいと、訴訟に取り組み、市民の税金をとりかえした経験があります。

こんどの名古屋市長選挙にあたり、いただいた4つの質問に対して、私の考えを述べさせていただきます。

1、本丸御殿復元事業について

- 1) 現計画のまま継続するつもりは、ありません。
- 2) 大不況のなかで、市民の暮らしが大変な時に、本丸御殿復元は凍結すべきであると考えています。また、マスコミでも、6割の方は、復元凍結・中止です。
- 3) 名古屋城は市民に親しまれている場であり、文化や技術等の保存・伝承は、必要な事業であると思います。

しかし、本丸御殿復元は、市民のくらし、福祉、営業の充実と比べて、今いそいで進める事業であるとは思いません。

2、塩漬け土地問題について

- 1) なごやサイエンスパーク事業は見直します。
- 2) 今後の見通しについて検討し、活用の計画がはっきりとしないものについては再編し、市民に活用される緑地などとして整地します。

また、公社からの買もどし、低金利への借り換えなどを行います。

- 3) 塩漬け土地問題は、バブル崩壊後の政府の公共事業推進の方針に対して無批判に追従し、開発用地を購入したものです。その後、政府が方針を転換したため、負担が市にのしかかることになりました。これを放置すれば、市民への負担がさらにふくらむことになります。しかし、民間への売却によって、いわゆる乱開発に陥ることも回避すべきです。

国の責任を問うとともに、新たな土地の利用を、たとえば、守山区民のみなさんと区民協議会で議論して考えます。

3、裏金問題

- 1) 裏金に関する書類は、個人情報を除いて原則公開します。
- 2) 問題を隠蔽せず、情報を公開することが再発防止につながります。また、裏金が生じる要因を解明し、財政運営で是正すべき点を明らかにすることが、問題の根っ子からの解決になると思います。

4、政務調査費・議員費用弁償について

- 1) 政務調査費にかかわる領収書や帳簿類全面公開ならびに、本会議・委員会出席一日1回の費用弁償廃止条例を、議会と協議して提出します。
- 2) 政務調査費は、名古屋市的一般会計予算が1兆円規模であることから、その適切な支出とよりよき市政推進をさぐるための調査・研究の経費として必要だと考えます。

では、どのような項目が必要なのか。議員自ら調査研究のための調査費、研修費、視察費。専門の調査員を雇用する経費。市民の方からご意見を聞き、逆に知らせる公聴広報費、その他の費用は必要です。それらから、議員一人当たり月50万円程度を基準にしてきました。これは、2月議会で改正され実現しました。領収書や帳簿類の全面公開は、調査研究の内容を明らかにする点で、必要です。推薦団体である日本共産党名古屋市議団は、議会でのこの点を求めています。

費用弁償については、交通費しか根拠がなく、1万円は高すぎます。交通費としても、報酬が出ており、支給の必要はないと考えています。推薦団体である日本共産党名古屋市議団は、現在、この費用弁償を受けとらず、廃止を求めています。

以上は、議員活動にかかわり、市民の声を大切にする立場から議会との協議のうえで、条例改正提出を考えています。

以上、回答とさせていただきます。

なお、名古屋市政をめぐる問題を議論する場がありましたら、参加させていただきたいと存じます。

09. 3/21

2009年3月19日

名古屋市長選挙 立候補予定者 殿

名古屋市中区丸の内3丁目6番41号リブビル6階

名古屋市民オンブズマン

代表 倉橋克実

電話 052-953-8052 FAX052-953-8050



名古屋市長選挙 立候補予定者に対する4つのご質問

前略。お仕事柄ご承知のことと存じますが、私たちは95年に官官接待の問題を提起し、また、96年には名古屋市下水道談合の問題を提訴して以来、税金の不正・不当・違法な支出を追及して参りました。このような立場の団体として、名古屋市長選に当たり、以下の4点（名古屋城本丸御殿復元事業、塩漬け土地、裏金帳簿公開、政務調査費・議員費用弁償）について主な立候補予定者の皆様に質問させていただきます。

つきましては、是非4月2日（木）までにご回答下さい。ご回答内容はホームページなどで公開させていただくことをご了承下さい。

連絡先：〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-41 リブビル6階

名古屋市民オンブズマン 担当 新海：内田 TEL 052-953-8052 FAX 052-953-8050

<http://www.ombnagoya.gr.jp/>

———回答欄（FAX052-953-8050 または郵送で）———

お名前（河村 七郎）

1. 本丸御殿復元事業についてお尋ねします。

①市長に当選された場合、本丸御殿復元事業を現計画のまま継続するおつもりがありますか。

ある

ない

②①で「ない」と回答された場合、具体的にどのようにするおつもりですか。

ゆくりにして市民の意見をお伺いする。

③ その他本丸御殿復元事業についてのご意見があればお書き下さい。

○この大正見。御殿は義直公でも慎重に扱っている。
○趣向神宮、宮の渡しなど御殿並み秩尾に文化財。
金庫の中に寺の印がある。
○取り壊すつもりはない。

2. 塩漬け土地問題についてお尋ねします。

名古屋市土地開発公社は、別紙のとおり2008年3月末現在で約71ヘクタール、簿価で約937億円の土地を保有していますが、市が時価評価したところ、約498億円の価値しかありませんでした。

そのうち守山区志段見にある「なごやサイエンスパーク」事業の保有土地が約24ヘクタールと3分の1を占めます。簿価は238億円にも上りますが、時価は101億円に下落しました。名古屋市は平成15年9月に出した「なごやサイエンスパーク事業の今後の整備方針」で、「平成25年度までを『長期』として、事業の完遂をめざす」「Bゾーン 大学・研究機関等平成25年度までに集積」「テクノヒル名古屋 民間の研究開発施設等平成22年度までに集積」「ふれあいゾーン 市民と先端科学技術のふれあいの場平成22年度までに整備」としております。

なお、名古屋市は、2006年度から土地開発公社に対して「利子補給」をしており、その額は2007年度には13.7億円にも上っております。

①市長に当選された場合、なごやサイエンスパーク事業を見直すおつもりがございしますか。

ある

ない

②①で「ある」と回答された場合、具体的にどのようにするおつもりですか。

別紙1

③その他塩漬け土地問題に関してのご意見がございましたらお書き下さい。

別紙1

3. 名古屋市裏金問題についてお尋ねします。

名古屋市で2007年10月に発覚した裏金は、総額約2億1500万円にものぼりました。当団体は、裏金作りの実態を明らかにするために、裏金の使途を記した「裏帳簿」「通帳」の情報公開を求めましたが、行政文書ではないという理由で却下になりました（現在名古屋地裁で係争中）。

①市長に当選された場合、名古屋市の裏金に関する「裏帳簿」「通帳」を公開するおつもりはございしますか。

ある

ない

が帳簿に記入されているものがある。

②その他裏金問題に関してのご意見がございましたらお書き下さい。

4. 政務調査費・議員費用弁償についてお尋ねします。

名古屋市議には、政務調査費として現在1人あたり月額55万円が各会派に支給されておりますが、領収書については「1件につき10,000円以上の支出に係る領収書その他の当該支出の事実を証する書類の写し」を議長に提出することにとどまっております。1円以上全ての領収書を議長に提出しなければ、全ての支出について市民がチェックすることが出来ませんし、帳簿も同時に提出しなければ、チェックがしにくいです。

議員の費用弁償については、「議長、副議長及び議員が招集に応じて議会の会議に出席したとき又は委員会等に出席したときは、費用弁償として月額10,000円を支給する」と条例上なっております。しかし、2009年2月20日づけの札幌高裁判決で、「交通費と出席に伴う雑費以上の支給は裁量権の乱用」と、札幌市議費用弁償について全額返還命令が出ました。

① 市長に当選された場合、政務調査費・議員費用弁償に関し、条例改正案を提出するおつもりはございますか。

ある

ない

②その他、政務調査費・議員費用弁償に関してのご意見がございましたらお書き下さい。

→ 支払いは金庫の公印
→ 実費支給

ありがとうございました。用紙が足りない場合には、別紙にお書き頂いても構いません。

別紙 1



「塩漬け土地」問題に関して

長年にわたって事実上放置されてきた「塩漬け土地」問題は、名古屋市の財政に大きな影響を及ぼしかねない、まさに看過できない問題であり、市長就任後、速やかに対策に乗り出す。まずは、「塩漬け土地」を含む「土地開発公社」のこれまでの運営・経営状況などの実態を調査し、結果を全面公開する。当然、なぜ、これほどの「塩漬け土地」が発生したのか、経緯や原因、さらには責任の所在も含めて明らかにする。

その上で、「塩漬け土地」を今後どのように処理していくべきか、さらには「土地開発公社」の存廃も含めた公有地取得方式の在り方についても、名古屋市として本格的に議論する。そのためには、「緑の審議会」では不十分であり、民間や学識経験者など外部の専門家も含めた「検討委員会」を作って対応する。「なごやサイエンスパーク事業」についても、この委員会で議論することになる。この委員会での議論は、今回の市長選挙の「マニフェスト」で約束したように、情報公開する。

ご連絡

日ごろより大変お世話になり、ありがとうございます。

ご請求のありました件につき、別添のとおり回答させていただきますので、よろしく願い申し上げます。

細川まさひこ後援会(担当 伊藤)

〒461-0004

名古屋市東区葵1丁目14-13

電話 (052) 979 8821

FAX (052) 935 6813

名古屋市市長選挙 立候補予定者に対する4つの質問

1 本丸御殿復元事業についてお尋ねします。

- ① 市長に当選された場合、本丸御殿復元事業を現計画のまま続行するつもりがありますか。

ない

- ② 本丸御殿に関わらず、すべての事業に聖域を設けず、市民の目線で見直してまいりたいと考えております。厳しい経済情勢の中、市民生活を1日も早く回復基調に乗せるためにも施策の優先順位を考慮する必要があります。当面の間、本丸御殿への市税の投入はストップします。

- ③ 本丸御殿の復元は郷土名古屋のシンボルとして近世武家文化を体験できる屈指の名城として再生するものと考えております。

2 塩漬け土地問題についてお尋ねします。

- ① 市長に当選された場合、なごやサイエンスパーク事業を見直すつもりはあるか。

ある

- ② 現行の計画にとらわれず、東名高速道路のスマートインターチェンジも予定されている状況の中で広域的に考えてまいりたい。

- ③ 近年の厳しい財政状況や社会情勢の変化等に的確に対応して、新規取得を抑制し、積極的に買戻しを進めることが必要と考える。

3 名古屋市裏金問題についてお尋ねします。

- ① 市長に当選された場合、名古屋市の裏金に関する「裏帳簿」「通帳」を公開するつもりはあるか。

文書公開については、係争中であることもあり、事態をしっかりと把握して対応したい。

- ② (私的流用は論外として) 年度内に予算を使い切るとする悪い慣習を改めるため、予算の仕組みの見直しが必要と考える。

4 政務調査費・議員費用弁償についてお尋ねします。

- ① 市長に当選された場合、政務調査費・議員費用弁償に関し、条例改正案を提出するつもりはあるか。

ない

政務調査費は議員の調査活動の充実を図ることによって審議能力の強化、議会の活性化に役立つよう、地方自治法において制度化され、条例に基づいて支給されているものであり、有効に活用されていると考える。一方改正の必要があれば議会において適切に判断すべきものとする。

- ② その他政務調査費・議員費用弁償に関してのご意見がありましたらお書きください。
政務調査費の財源は税金であることから全領収書の全面公開は時代の趨勢であると考えます。